

2015年7月11日

兵庫県連意見交換会

場 所：洲本商工会議所

時 間：16:30～17:30

出席者：日本 YEG 伴会長・代表理事 松尾三津浩

日本ネットワーク委員会 赤田陽介・神林拓馬・篠田佳宗

兵庫県連会長 松岡慎也

池本和正（高砂）・松尾兵吾（加西）・後藤宏暢（洲本）・森本幸次郎（加古川）

山崎貴正（赤穂）・大塚義宣（相生）・岡本真一（龍野）・久保田武志（明石）

宮脇俊彦（三木）

1. 伴会長挨拶
2. 事業・各団体との連携について

洲本

人口4万人弱で104名の会員数である。人口比率でいえば上位に入ると思う。商工業のメンバーが主に入っている。JCとの垣根はない。島外のお客さんをいかに呼ぶかが課題であり、2年前から2日で15000人ほどのイベント『洲本アルカンカ』を企画し、島外の方にも参加いただいている。街中を舞台としたゲームやライブパフォーマンスを開催している。また、ジュニアエコノミーカレッジを昨年度から開催し、行政からの補助金などはないが、地域に見合った事業を目指している。

高砂

今年から『ナイトファンタジーイリュージョン2015』を企画し花火大会を開催する。実行委員会を構成し、JCと協働で行っている。

企業からの協賛をお願いしている。JCとの垣根はあったが、いろいろな意見を伺いながら進める素晴らしさを感じている。

伴会長

年4回 トップ会談をしている。8月にも奈良県で行う。地域で共にする団体同士で協力し合うことでさらに良くなる。農業・漁業などの青年団体との連携の事例を聞ける。事例があったら教えてほしい。

三木

市町村合併により商工会青年部も地域にいる。クリスマスイベントを協働で行っている。両団体ともすみわけが難しく距離はあったが、同じ目的をもって行う事の素晴らしさを感じている。

伴会長

市からの要請はいかがでしょうか。婚活事業などの要請を受ける事例がある。

明石

市から婚活事業の要望はある。地元で結婚して税金を納めてほしい。人口 29 万人の街であり、誰かがやってくれるのではという雰囲気があり、誰が責任をとるかによって消極的になっている。

伴

宇都宮では街コンで 2000 人集まる。問題が発生した場合はどうするのか、NPO 法人が仕切ってすすめている。青年部は絡んでいないが、他団体と連携して行う方法も良いと思う。各地域で起こっている問題点や良い点などを共有できたらと思う。

相生

人口は約 32000。地元の商店街の連合会と協働しようと進めています。7 月～8 月で、1 と 6 のつく日は模擬店がでる祭りを行った。商店街も閉鎖されてきている中で、前年度は祭りがなかった前々年度は祭りが 1 回あった。共に協力し合っていこうという話になった。商店街は年配者が多いため新しいアイデアを青年部に期待している。商店街は過去の事業の資料がありません。予算書・計画書がないので苦労した。

高砂

万灯祭に出店している。万灯祭に合わせて『Candle Café』を開催し、婚活事業を毎年行っている。主催して 120 組のうち 80 組が結婚成立している。責任問題については、今まで考えたことはなかった。主催者が責任をとると考えると大変なことだと思った。どういう対応があるかアドバイスいただけたらと思います。

人を集めるのも大変だが、宇都宮さんの募集方法をお聞かせいただけたらと思う。

伴会長

トラブル対応については、司法書士や保険屋さんのメンバーからアドバイスいただいて資料を作成している。街コンについては、5 店舗から始まって、チケットをもっていると加盟しているお店を利用できる。街全体でパーティーチケットを配っているようなもの。

行政は絡んでおらず、NPO 法人をつくっているため、動きやすさはあると思う。

親会の関わりについて

伴会長

1 つの市に 3 つの商工会があるところもある。複数のため行政がかかわらないところもある。各地親会の会頭の交代によって関わり薄くなってしまいうところもある。

日本・ブロック・県連を通じて動きにくさに働きかけたい。三村会頭は青年部との関わりを積極的に持とうとしていただいている。

兵庫県は未設置な場所がありますので、三村会頭から通達を出す話がある。東京商工会議所も青年部設立の話がある。代表理事を通して日本 Y E G の役員会でディスカッションしていきたい。

加西

近畿ブロックの会長会議にて政策提言委員会が企画する風会議で、地域の声が中央に届くという実感が持てている。そのことも新入会員勧誘とかで生かされてくる。メンバーみんなが儲かる仕組み。地域がよくなり日本がよくなる。そういった仕組みを強化していただきたい。

伴会長

ビジネス系の委員会を 2 つ設置している。Y E G モールでビジネスの応援。箱根でのイベントのようにビジネスマッチングを考えたい。

各ブロック大会でビジネス交流会を企画している。新しい取組み、国際ビジネス交流、在日ニュージーランド大使館などと国内での流通を進めていきたい。日光の関東ブロック大会にて交流の場を取り組みさせていただいている。いろいろなアイデアを具現化していきたい。

龍野

意見交換の場を設けていただけることが、新しい発想につながっている。今後も続けていただきたい。

伴会長

ジュニアエコノミーカレッジは多く、多様化してきているので、全国大会などで事例発表の場を設けるなど考えていきたい。

龍野

市議会との意見交換会。若手経営者との意見交換会の場がある。未来の子供たちに商売の面白さを伝えていくことを目的にしているのので、行政との結びつきをもっと強くしていきたい。

伴会長

これまで足りなかったと感じているのは、青少年育成である。青少年育成系の取組はいかがでしょうか。今後考えてみてください。

赤穂

会員数は減少傾向にあり、県の出向者も減ってきている。年 2 回祭りなどに参加するなどの地域イベントに参加しているが、毎年つなげていくことが目的になっている。自分単会の会長を決めることにも苦労している。会員数を増やすために J C に会員が入り、J C から入れてもらうことをしている。

伴会長

全国的には Y E G は純増 1000 人ぐらいで 32,000 人になっている。1 年間で 3 から 4 単会も加盟する予定でいる。地域の事情はあるので、そういう単会に伺って親会さんとも一緒にディスカッションしたいと思っている。

人口が少なくなっても会員数 100 名を超えているところ 五所川原は 5 万人で 120 を超えている。町中がみんな仲間で J C や商工会など入会している。両方入って頑張っているところがある。

東北ブロックにて復興フォーラムを行います。3 団体の地区長にお越しいただく。会は異なるが復興をテーマとしたときに何ができるのかを共に認識したいと思う。

全国大会・会長研修会について

加古川

昨年は企画委員会に出向し、出向している人は仲間ができる。全国会長研修会においても今年度次年度が顔を合わせるため、出会いをきちっとしていただけたらと思う。地域が近いところで出会いがあれば、事業においてそしてビジネスマッチングにおいてもメリットがあると思う。兵庫県の会長がいろいろな会長と出会い、連絡が取り合うような関係が築ける研修会になると良い。

伴会長

会長の悩みを共有できる分科会を考えている。409 の単会の会長さんがみえるので、その機

会ができる第2分科会を設営していきたいと思う。全国会長研修会は加古川が主管となり、兵庫県連が副主管となる。一緒にやっていく意識をもっていただきたい。

例会出席率について

伴会長

5割ぐらいが平均です。

柏は委員会メンバー10人ぐらいで声掛けがしやすい距離感にしているため、出席率が高い。石垣という親会の広報誌にて記事にしたいと考えている。素晴らしい事業や取組を発信していきたい。また、代表理事を通して、会長同士のつながりを作る橋渡しとして日本 YEG を活用していただきたい。

加西

70人強の会員数で6割ぐらいは出席している。先輩からの慣例があるのと、参加しようという雰囲気を実現もつくっている。常にメンバーにとって大切な事業であるかと役員会で話し合っている。

伴会長

春の会長会議などでディスカッションしたご意見を提言として税制委員会に提出し、自民党青年局と懇談会を行った。兵庫4区の藤井ひさゆき衆議院議員もご参加されていた。

相生（オブザーバー）

災害の時の連携一覧表をいただいたが活用できていないと思う。連携する単会との交流ができればと思う。

伴

災害対応表というものがある。同じ規模の単会同士で組んでいる。単会同士で年1回交流しているところもある。日本 YEG のグループディスカッションのときに活用していきたいと思う。

3. 集合写真

4. 閉会